

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
教育・学校心理学			選択	2	3.4	前期 (集中)
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
高田 毅		B301	t.takada		木曜日 13:00～14:30	
授業の目的・概要		<目的>教育現場における臨床心理学として、①教育現場において生じる問題及びその背景、②教育現場における心理社会的課題及び必要な支援を分析できるようになることを目的とする。 <概要>課題学習、同時双方向授業で授業を展開する。課題学習では基本となる理論をpushし、そのまとめ学習などを行う。同時双方向授業では事例の検討を中心にオンライン上でのディスカッションを展開し、臨床的な見方や考え方を検討し深める。				
学習上の助言		オンラインディスカッションがほとんどなので、積極的に参与すること。 講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。 体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。				
教科書		レジュメを配布する。				
参考書		ロジャーズ選集: カウンセラーなら一度は読んでおきたい厳選 33 論文 上巻/編: Kirschenbaum, H., & Henderson, V. L./訳: 伊藤博・村山正治/誠信書房 スクールカウンセリングモデル100例/著: かしまえりこ・神田橋條治/創元社				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	教育現場において生じる問題及びその背景を理解し分析できる。				心(1)	
②	教育現場における心理社会的課題及び必要な支援を分析できる。				心(2)	
③	教育現場において集団の視点を応用し理解、分析できる。				心(2)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーションを行う。臨床心理学の概論を理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。			3
2	教育相談員・スクールカウンセラーの仕事を理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。			3
3	心理処方との区別を理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。			3
4	C. Rogers (1957)の「セラピーによるパーソナリティ変化の必要にして十分な条件」を読み考察する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。			3
5	「セラピーによるパーソナリティ変化の必要にして十分な条件」をディスカッションで深める。	同時双方向型授業	ディスカッションで学んだことを、Teams で提出する。			3
6	発達課題: 潜伏期を中心に理解する。ディスカッションとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	授業内容を踏まえてコメントシートを Teams で提出する。			3
7	事例: 潜伏期の事例 A 子を理解、分析する。ディスカッションとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。			3
8	事例: 潜伏期の事例 B 子を理解、分析する。ディスカッションとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。			3
9	事例: 危機介入のケースを理解、分析する。ディスカッションとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。			3
10	事例: 学級崩壊のケースを理解、分析する。ディスカッションとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。			3
11	事例: 特別支援学校の事例を分析する①。ディスカッションとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。			3
12	事例: 特別支援学校の事例を分析する②。ディスカッションとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。			3
13	事例: スクールカウンセリングの事例を分析する①。ディスカッションとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。			3
14	事例: スクールカウンセリングの事例を分析する②。ディスカッションとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。 レポートの作成と提出。			18
15	まとめとフィードバック。まとめの意見交換とレポートについてのフィードバックを行う。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。			3

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	10	0	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題や事例の分析、体験から学んだことのフィードバックから構成される。知識を用いて思考、表現ができていのかどうか、学生固有の体験から学ぶことができていのかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。				15 回目にレポートを返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後に本日の学びなどを Microsoft Teams の課題機能を用いて提出する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。 必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードなどを行いますので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。</p> <p>尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p>教員の実務経験：臨床心理士として 12 年の臨床経験。</p> <p>実践的授業の内容：ミニワークを数多く取り入れ、ディスカッションを軸に授業を展開する。その際にグループセラピーの技術を応用する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて体験から学ぶことを促す。</p> <p>授業に参加し、体験から学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。 この授業は集中講義なので、開講日時の掲示に注意すること。</p>							